

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【公開番号】特開2002-41312(P2002-41312A)  
 【公開日】平成14年2月8日(2002.2.8)  
 【出願番号】特願2001-125125(P2001-125125)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 9/54 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 9/06 6 4 0 B

G 0 6 F 12/00 5 4 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月16日(2008.6.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ネットワーク環境において使用するためのドキュメントの形式で情報を処理するオペレーティングシステムであって、

a．処理される情報を受信し、かつ、1つ以上のトランスポートプロトコルをインプリメントする1つ以上のトランスポートレシーバアダプタと、

b．該受信された情報に基づいて、構造化された情報をイベントストリームの形式で生成するイベントソースと、

c．1つ以上のドキュメントプロセッサであって、該1つ以上のドキュメントプロセッサの各々は、1つ以上のイベントを含む該イベントストリームを処理する1つ以上のストリームプロセッサを含む、ドキュメントプロセッサと、

d．文字ストリームの形式で該構造化された情報を送信するためにレシーバに接続するためのトランスポートトランスミッタアダプタと

を備え、

該オペレーティングシステムは、種々のプロトコルを処理し、種々の文書を同時に処理するようにダイナミックかつ柔軟性がある、オペレーティングシステム。

【請求項 2】

前記トランスポートレシーバによって受信される情報は、拡張マークアップ言語 (XML) ドキュメントである、請求項 1 に記載のオペレーティングシステム。

【請求項 3】

XML 送信器は、トランスポートプロトコルを用いて、前記 1 つ以上のトランスポートレシーバアダプタによる受信のために前記 XML ドキュメントを文字ストリームとして送信する、請求項 2 に記載のオペレーティングシステム。

【請求項 4】

前記 1 つ以上のトランスポートレシーバアダプタは、前記文字ストリームを受信し、該文字ストリームの受信を開始すると、該文字ストリームを表すようにリクエストチャネルを割り当てる、請求項 3 に記載のオペレーティングシステム。

【請求項 5】

前記リクエストチャネルは、リクエストプロセッサが前記トランスポートプロトコルの

詳細を知らずに前記文字ストリームを読むことを可能にする、請求項 4 に記載のオペレーティングシステム。

【請求項 6】

前記 1 つ以上のトランスポートレシーバアダプタによって前記ドキュメントが受信されたときに、リクエストチャネルが生成される、請求項 4 に記載のオペレーティングシステム。

【請求項 7】

前記ドキュメントが処理されたときに、前記リクエストチャネルは廃棄される、請求項 4 に記載のオペレーティングシステム。

【請求項 8】

複数のリクエストチャネルは、複数の文字ストリームを表し、該複数の文字ストリームの各々は、固有のドキュメントに関連し、該ドキュメントは、異なる段階で処理される、請求項 6 に記載のオペレーティングシステム。

【請求項 9】

前記 1 つ以上のトランスポートレシーバアダプタの各々は、複数のソースから同時に文字ストリームを受信する、請求項 4 に記載のオペレーティングシステム。

【請求項 10】

前記 1 つ以上のトランスポートレシーバアダプタは、前記表された文字ストリームをリクエストチャネルハンドラへとパスする、請求項 4 に記載のオペレーティングシステム。

【請求項 11】

リクエストプロセッサディクショナリは、特定のリクエストチャネルに割り当てられるべきリクエストプロセッサを選択し、該リクエストプロセッサは、前記表された文字ストリームを処理する、請求項 10 に記載のオペレーティングシステム。

【請求項 12】

前記リクエストプロセッサは、前記処理された文字ストリームを、該文字ストリームのさらなる処理のためにイベントストリームへと変換する、請求項 11 に記載のオペレーティングシステム。

【請求項 13】

前記 1 つ以上のストリームプロセッサのうちの特定の 1 つ以上のストリームプロセッサは、該 1 つ以上のストリームプロセッサのうちの別の 1 つ以上のストリームプロセッサを呼び出す、請求項 4 に記載のオペレーティングシステム。

【請求項 14】

2 つ以上のイベントソースを含み、該 2 つ以上のイベントソースの各々は、イベントストリームを生成し、2 つ以上のドキュメントを同時に処理する、請求項 1 に記載のオペレーティングシステム。

【請求項 15】

各ドキュメントは、異なるストリームプロセッサによって処理される、請求項 14 に記載のオペレーティングシステム。

【請求項 16】

異なるストリームプロセッサは、同一のストリームプロセッサの異なるインスタンスである、請求項 15 に記載のオペレーティングシステム。

【請求項 17】

前記トランスポートトランスミッタアダプタは、前記 1 つ以上のドキュメントプロセッサのうちの 1 つが第 2 の文字ストリームに関連したイベントストリームを処理している間に、さらに前記トランスポートレシーバアダプタが第 3 の文字ストリームを受信している間に、第 1 の文字ストリームを送信する、請求項 1 に記載のオペレーティングシステム。

【請求項 18】

前記受信されたドキュメントの各々に対する前記 1 つ以上のストリームプロセッサのインスタンスを作成するためのパターンまたはパターンに対する参照を有するディクショナリを含む、請求項 1 に記載のオペレーティングシステム。

**【請求項 19】**

前記インスタンスは、オンデマンドで作成される、請求項 18 に記載のオペレーティングシステム。

**【請求項 20】**

前記ディクショナリのうちの 1 つは、前記オペレーティングシステムの外部に格納されるストリームプロセッサディクショナリである、請求項 18 に記載のオペレーティングシステム。

**【請求項 21】**

前記 1 つ以上のストリームプロセッサの各々は、イベントストリーム内のイベントに対して、該イベント内の構造、パターン、名称またはキーワードを検出することか、該イベントストリームに新たなイベントを挿入することか、該イベントストリームからイベントを除去することか、該イベントストリームまたは該イベントストリームの一部を複製することか、各イベントを複数のストリームプロセッサへと方向付けることか、外部システムとの通信または外部システムへの参加をすることか、前記ドキュメントプロセッサの構成を変更することか、組み込み型コマンドまたはユーザが規定したコマンドを呼び出すことかによって応答する、請求項 1 に記載のオペレーティングシステム。

**【請求項 22】**

ネットワーク環境においてドキュメントの形式で情報を処理するオペレーティングシステムを使用する方法であって、

1 つ以上のトランスポートプロトコルをインプリメントするために、処理される情報を受信することと、

該受信された情報に基づいて、構造化された情報をイベントストリームの形式で生成することと、

1 つ以上のドキュメントプロセッサを選択することであって、該 1 つ以上のドキュメントプロセッサの各々は、1 つ以上のイベントを含む該イベントストリームを処理する 1 つ以上のストリームプロセッサを含む、ことと、

文字ストリームの形式で該構造化された情報をレシーバに送信することと  
を包含し、

該オペレーティングシステムは、種々のプロトコルを処理し、種々の文書を同時に処理するようにダイナミックかつ柔軟性がある、方法。